

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「地域ふれあい事業」～アーティスト in レジデンス～による文化芸術活性化事業
事業主体 (連絡先)	上田市 (上田市交流文化芸術センター：tel 0268-27-000)
事業区分	(3) 教育、文化に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,935,114 円 (うち支援金：1,055,000 円)

事業内容

◆公民館コンサート

日ごろ芸術に触れる機会の少ない市民に対して、身近な地域（公民館）で安価なコンサートを開催し、芸術への興味、関心の促進することによる地域文化の育成を行った。

◆アクティビティ

芸術家とのアクティビティ（ワークショップ）を通じて、芸術を身近に感じ、親しむ機会の拡充した。

(活動写真)



【地域ふれあいコンサート】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ホールでのコンサートだけではなく、学校や公民館など身近な場所でアーティストとコミュニケーションを取りながら生の音楽に触れることができる本事業によって、感受性、表現力、コミュニケーション能力を育む効果を発信できた。
- ②病院や高齢者施設におけるアクティビティは入院患者や通所者が、普段の生活を楽しく過ごせるような、元気や活力が生まれた。
- ③継続的に文化芸術に触れることができる環境を整えることにより、地域におけるコミュニティの活性化、地域に対する愛着や誇りの回復など、文化芸術が地域再生に結びつく効果も生まれた。

【目標・ねらい】

- ①教育における効果
- ②福祉における効果
- ③その他の政策分野における効果

※自己評価【A】

【理由】

- ①アンケートで事業内容に対する好評価を多くいただいた。
- ②新たな層の取り込みに一定の成果がみられた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

継続して実施することにより、芸術への興味、関心を促進し、新たな地域文化の担い手の育成にもつながることから、平成28年度以降もこれまでの取り組みを検証、改善しながら、自主財源により継続実施し、事業の定着化を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある